

市内遺跡 2022

令和4年度小諸市内遺跡発掘調査報告書

2025.3

小諸市教育委員会

例 言

- 1 本書は長野県小諸市に所在する埋蔵文化財包蔵地内で令和4年度に実施した、各種開発事業を原因とする発掘調査報告書である。
- 2 調査は国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金を受けて、小諸市教育委員会事務局文化財・生涯学習課が実施した。
- 3 調査にかかる組織は次のとおりである。
教育長 山下 千鶴子
教育次長 富岡 昭吾
文化財・生涯学習課長 安藤 貴正
文化財・生涯学習係長 小山 輝之
文化財・生涯学習係 高橋 陽一 土屋 敦 阿部 達彦 土屋 千浩
井出 勇介
調査作業員 星野 保彦
- 4 調査は高橋陽一（文化財・生涯学習課文化財保護担当）が担当した。
- 5 本書の執筆・編集は星野保彦、井出勇介が実施した。
- 6 遺物写真撮影及び遺構図トレースは株式会社アルカに委託した。
- 7 調査に関する資料は、小諸市教育委員会の責任下に保管している。
- 8 調査にあたり、長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課からご指導、ご助言を頂いた。また、施工主や地域の方々には日程調整や発掘調査の承諾等でご協力を頂いた。記して深く感謝する次第である。

凡 例

- 1 挿図中の略記号は、Tr= トレンチ、SB= 住居址、SK= 土坑を表す。
- 2 挿図中におけるスクリーントーンは下記のとおりである。
遺構  : 住居址 (SB)  : 土坑 (SK)
 : カクラン  : 地山
- 3 土層の色調は、『新版 標準土色帖』（1990 年版）に準拠している。

目 次

調査遺跡位置表示	2
谷地原遺跡群	3
舟窪遺跡	5
寺ノ浦遺跡群	7
三子塚遺跡群①	8
三子塚遺跡群②	9
深沢遺跡群①	10
深沢遺跡群②	11
深沢遺跡群③	12
谷地原遺跡群	13
柏木原遺跡群	14
中松井城跡	15
諸遺跡	16
山神遺跡	17
和田原遺跡群①	19
和田原遺跡群②	21
戌立遺跡群	22
岩下遺跡	23
坪ノ内遺跡	25
矢留城跡	27
鎌田原遺跡	28

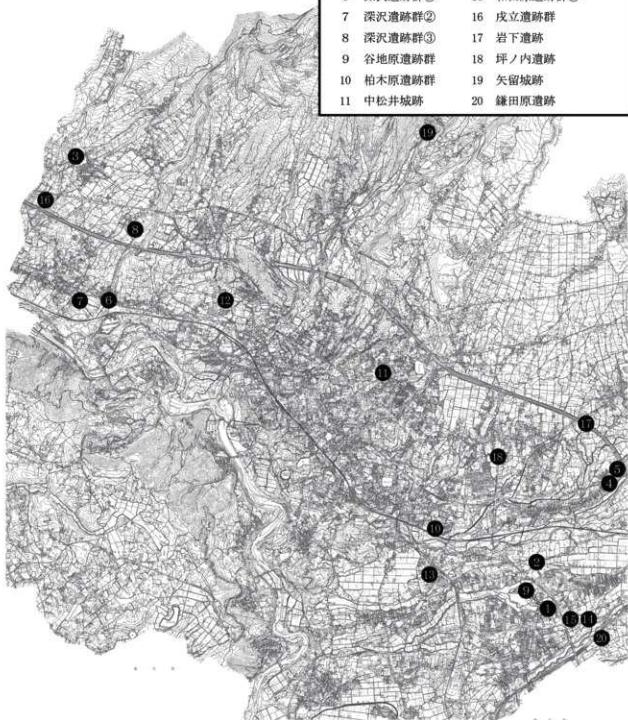
調査遺跡位置表示 1 : 50,000

本調査

- 1 谷地原遺跡群
- 2 舟窪遺跡

試掘調査

- | | |
|-----------|------------|
| 3 寺ノ浦遺跡群 | 12 諸遺跡 |
| 4 三子塚遺跡群① | 13 山神遺跡 |
| 5 三子塚遺跡群② | 14 和田原遺跡群① |
| 6 深沢遺跡群① | 15 和田原遺跡群② |
| 7 深沢遺跡群② | 16 戌立遺跡群 |
| 8 深沢遺跡群③ | 17 岩下遺跡 |
| 9 谷地原遺跡群 | 18 坪ノ内遺跡 |
| 10 柏木原遺跡群 | 19 矢留城跡 |
| 11 中松井城跡 | 20 鎌田原遺跡 |



本調査

谷地原遺跡群

所在地 小諸市大字御影新田字池ノ上 2352 番 16

事業概要 個人住宅建設

開発者 個人

調査期間 令和4年9月12日

調査面積 13 m²

検出遺構 土坑6基

出土遺物 なし

調査所見

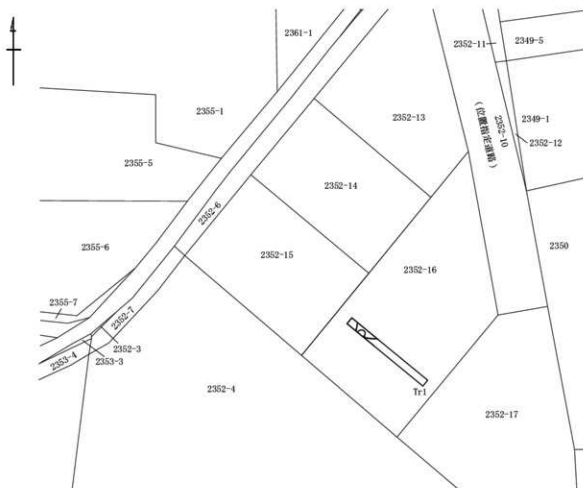
浄化槽及び浸透トレンチが計画されている範囲について重機を用いて掘り下げた。

15cm～20cmほど掘り下げたところ、人為的な掘り込みを確認した。これらには、瓦やビニールが混入していたため現代のゴミ穴と判断し、重機を用いて土坑ごと掘り下げた。

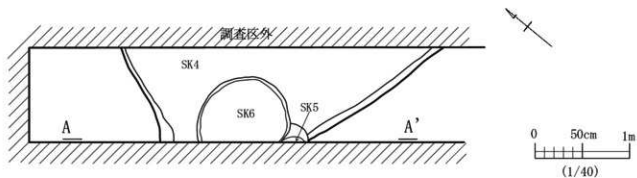
現況 GL より約 80cm 下で浅間軽石流堆積層を確認。本層頂部でプラン確認を実施し、土坑があったためこれを完掘した。結果的に、4基の土坑が切りあっていたが、遺物はなく時期・用途は不明。



位置図 (1 : 10,000)

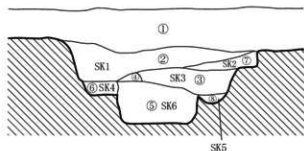


全体図 (1 : 500)



○ A

A' ○



平面図 (1 : 40)

- ① 黒褐色土 (7.5YR2/2) 耕作土
- ② 褐色土 (7.5YR4/4) 2cm ~ 3cm 大の軽石、10% 含む
瓦混入 SK1 埋土
- ③ 黄褐色土 (10YR5/6)、明黄褐色土 (10YR6/8)、褐色土 (10YR4/4) がまだらに混じる SK3 埋土
- ④ 暗褐色土 (10YR3/4) 軽石等の含有無し
- ⑤ 黄褐色土 (10YR5/6) 1cm 大の軽石、2% 含む
ゆるい SK6 埋土
- ⑥ 淡赤橙色土 (2.5YR7/4) SK4 埋土
- ⑦ 黒褐色土 (10YR3/1) ビニール混じる SK2 埋土
- ⑧ 黒色土 (10YR1.7/1) SK5 埋土



調査地全景【北東より】



Tr1【北西より】



切りあった土坑の様子【北西より】



Tr1【南西壁】

本調査

舟窪遺跡

所在地 小諸市大字御影新田字反田 1789 番 3

事業概要 個人住宅建設

開発者 個人

調査期間 令和 5 年 3 月 14 日

調査面積 37 m²

検出遺構 土坑 4 基

出土遺物 須恵器、中世陶器

調査所見

表層改良及び浄化槽が計画されている範囲について重機を用いて掘り下げた。

基本層序は次のとおり。Ⅰ：褐色土 (10YR4/4) Ⅱ：黒褐色土 (10YR3/4) Ⅲ：黄褐色土 (10YR5/6) 浅間軽石流堆積層。

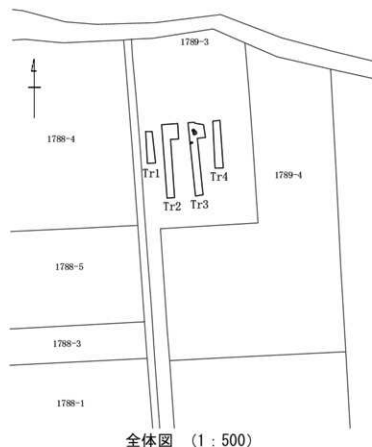
現況 GL より 40cm 程度下で浅間軽石流堆積層が検出され、本層上面で遺構の検出作業を行った。Tr3 北側で土坑群が、その南約 1 m のところで土坑 1 基が確認された。Tr3 北側の土坑群については 3 基の土坑が切りあっており、切り合い関係から、古い順に SK2 → SK1 → SK3 と判断した。

SK1 は須恵器破片 (奈良時代) が見つかったため、奈良時代以降の土坑と思われる。用途については不明。

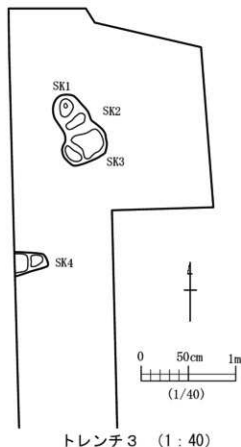
遺物は SK1 で須恵器破片 (奈良時代)、Tr3 (土坑外) で須恵器破片 (奈良時代) と須恵器破片 (時期不明)、Tr2 で須恵器破片 (時期不明) と中世陶器が見つかった。



位置図 (1 : 10,000)

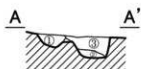
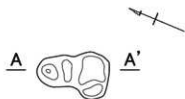


全体図 (1 : 500)



トレンチ 3 (1 : 40)

SK1、SK2、SK3



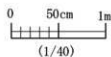
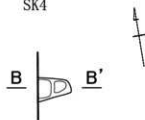
- ① 暗褐色土 (10YR3/4) 褐色土ブロック
(10YR5/8) 混じる
- ② 暗褐色土 (10YR3/4) 黄褐色土ブロック
(10YR5/6) 混じる
- ③ 暗褐色土 (10YR3/4)
- ④ 黄褐色土 (10YR5/6) ところどころ赤褐色土
(2.5YR4/8) 含む 浅間軽石流堆積層

土坑実測図 (1:40)



出土遺物

SK4



- ① 暗褐色土 (10YR3/4)
- ② 黄褐色土 (10YR5/6) 浅間軽石流堆積層



調査地全景【北東より】



SK1、2、3のプラン【北東より】



SK4のプラン【南より】

試掘調査

寺ノ浦遺跡群

所在地 小諸市大字滋野甲字石原 3076 番 1、20、21

事業概要 個人住宅建設

開発者 個人

調査期間 令和 4 年 4 月 11 日

調査面積 1.8 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

個人住宅の浄化槽を対象に試掘調査を実施する。

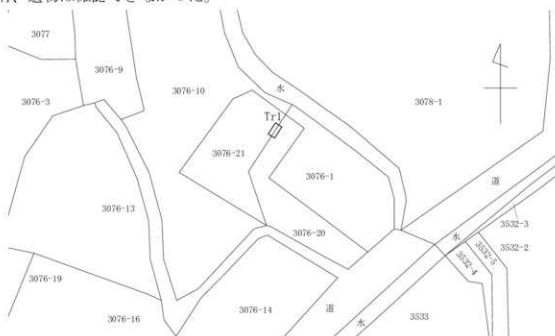
基本層序は次のとおり。Ⅰ 現況地表面下 100cm 程度まで現代の造成層 Ⅱ 100cm ～ 150cm 程度まで褐鉄を含む褐色土層 Ⅲ 150cm ～ 工事基盤面まで泥炭状の灰褐色土層。

Ⅲ 層下部より水がしみ出ており、調査地点は生活痕跡が認められる土地ではないと考えられる。

遺構、遺物は確認できなかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【南西より】



Tr1【南より】

試掘調査

三子塚遺跡群①

所在地 小諸市大字平原字馬坂 110 番 4、
111 番 4 の各一部

事業概要 個人住宅建設

開発者 個人

調査期間 令和 4 年 6 月 9 日

調査面積 6 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

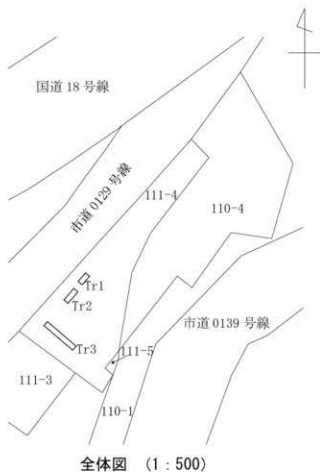
個人住宅の浄化槽を対象にトレンチを 3 本設定し試掘調査を実施する。

基本層序は次のとおり。Ⅰ層：現代の造成層 Ⅱ層：5 cm 程度の軽石を含む浅間軽石流堆積層。

Ⅱ層上面で遺構確認を実施したが、遺構は検出されなかった。また、遺物についても確認できなかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【北東より】



Tr1【北東より】

試掘調査

三子塚遺跡群②

所在地 小諸市大字平原字中原 1672 番 1

事業概要 集合住宅建設

開発者 大和ハウス工業株式会社

調査期間 令和 5 年 3 月 8 日、3 月 10 日

調査面積 85 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

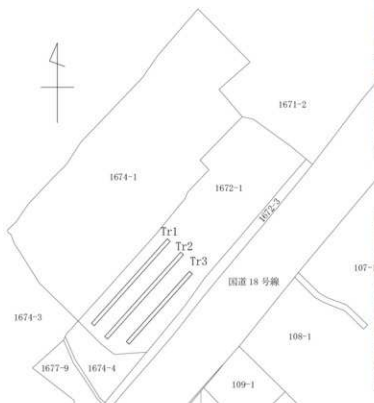
切土が計画されている場所にトレンチを 3 本設定して重機を用いて掘り下げた。

基本層序は次のとおり。Ⅰ層：黒褐色土 (10YR2/3) 耕作土 Ⅱ層：黄褐色土 (10YR5/6) 浅間火砕流堆積層 径 5 cm ～ 15 cm 程度の軽石含む 地山。

現況地表面より 25 cm 程度下で浅間軽石流堆積層が検出され、本層上面で遺構の検出作業を行った。トレンチ 1 に掘り込みが確認されたため完掘したが、不整形で底部の凹凸が激しいことから樹根ではないかと判断した。そのほか、遺構は検出されなかった。遺物についても確認できなかった。



位置図 (1:10,000)



全体図 (1:1,000)



調査地全景【北東より】



Tr3【南西より】

試掘調査

深沢遺跡群①

所在地 小諸市大字滋野甲字田中畑 1492 番 4

事業概要 太陽光発電施設設置

開発者 株式会社クラカンエコライフ

調査期間 令和4年6月29日

調査面積 54.38 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

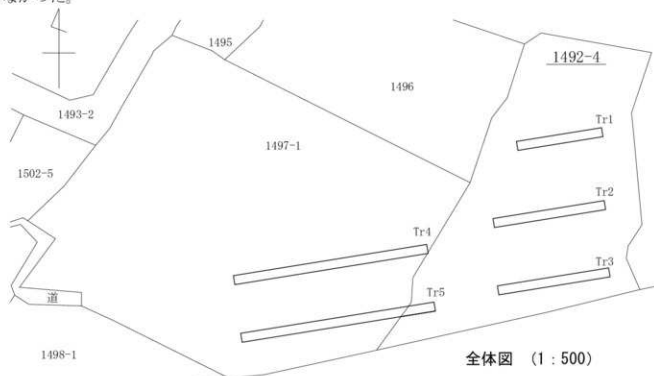
調査区は北に上る地形。太陽光発電施設の浸透側溝を計画している場所にトレンチを5本設定して重機を用いて掘り下げた。

基本層序は次のとおり。Ⅰ層：暗褐色土（10YR3/4） 木の根による攪乱が激しい Ⅱ層：褐色土（7.5YR4/4） 最大90cm×35cm×80cm程度の石が多数混じる。

Ⅱ層検出面で遺構の検出作業を行ったが、確認できなかった。遺物についても確認できなかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【北東より】



Tr1【東より】

試掘調査

深沢遺跡群②

所在地 小諸市大字滋野甲字田中畑 1497 番 1

事業概要 太陽光発電施設設置

開発者 株式会社クラカンエコライフ

調査期間 令和4年6月29日

調査面積 57.22 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

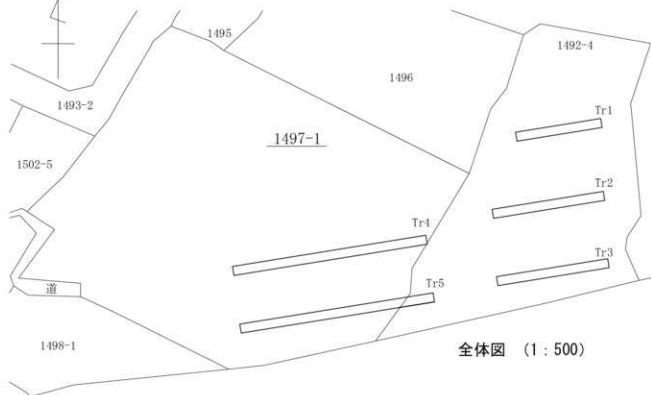
調査区は北に上る地形。太陽光発電施設の浸透側溝を計画している場所にトレンチを5本設定して重機を用いて掘り下げた。

基本層序は次のとおり。Ⅰ層：暗褐色土（10YR3/4）木の根による攪乱が激しい Ⅱ層：褐色土（7.5YR4/4）最大90cm×35cm×80cm程度の石が多数混じる。

Ⅱ層検出面で遺構の検出作業を行ったが、確認できなかった。遺物についても確認できなかった。



位置図 (1:10,000)



調査地全景【北東より】



Tr5【東より】

試掘調査

深沢遺跡群③

所在地 小諸市大字滋野甲字老騎馬 352 番 1

事業概要 個人住宅建設

開発者 個人

調査期間 令和 4 年 11 月 9 日

調査面積 4 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

調査区は南に向かって下る地形。個人住宅の浄化槽が計画されている場所にトレンチを 1 本設定して重機を用いて掘り下げた。

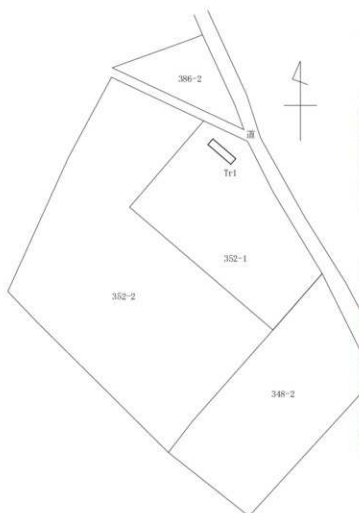
基本層序は次のとおり。Ⅰ：黒褐色土（10YR3/2） 耕作土 Ⅱ：褐色土（10YR4/6） Ⅲ：明黄褐色土（10YR6/6） 40cm 大の石を多数含む 砂礫の堆積層。

調査区で現況地表面より 35cm 程度下で砂礫の堆積層が検出され、本層上面で遺構の検出作業を行った。トレンチ内に現代の掘り込みが確認された。

遺物についても確認できなかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【東より】



Tr1【北西より】

試掘調査

谷地原遺跡群

所在地 小諸市大字御影新田字池ノ上

2349 番 1、2352 番 12

事業概要 個人住宅建設

開発者 個人

調査期間 令和 4 年 6 月 28 日

調査面積 4.55 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

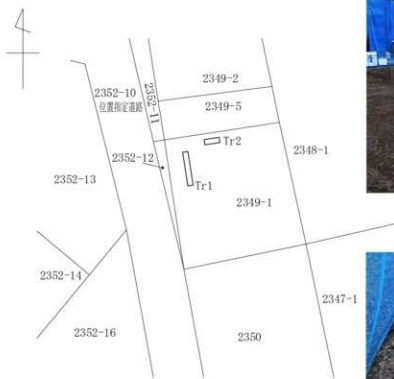
調査区は南西に下がる地形。個人住宅の浄化槽を計画している場所にトレンチを 2 本設定して重機を用いて掘り下げた。

基本層序は次のとおり。Ⅰ層：黒褐色土（5YR2/1）炭化物混じる 旧耕作土 Ⅱ層：黄橙色（10YR7/8）5 cm 大の軽石混じる 浅間軽石流堆積層 特にトレンチ 2 ではⅠ層、Ⅱ層とも木の根による攪乱が激しかった。

Ⅱ層頂部で遺構の検出作業を行ったが、確認できなかった。遺物についても確認できなかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【南東より】



Tr1【西より】

試掘調査

柏木原遺跡群

所在地 小諸市大字柏木字東大道下 121-6、121-7

事業概要 個人住宅建設

開発者 個人

調査期間 令和4年6月27日

調査面積 5.5 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

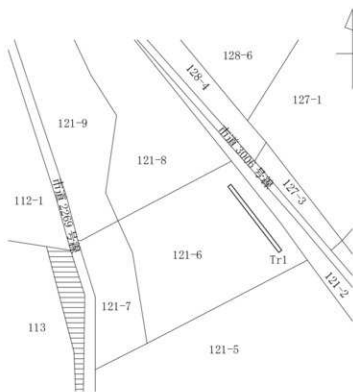
調査所見

調査区は南東に向かって傾斜する地形で、特に西側は大きく落ち込んでいる。個人住宅の浄化槽を計画している場所にトレンチを1本設定して重機を用いて掘り下げた。

現況地表面より1cm程度下で浅間軽石流堆積層に到達し、本層検出面で遺構の検出作業を行ったが、確認できなかった。遺物についても確認できなかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【東南東より】



Tr1【南東より】

試掘調査

中松井城跡

所在地 小諸市東雲二丁目 3696 番 2、3696 番 1

事業概要 太陽光発電設備設置

開発者 大和グリーンエネルギー株式会社

調査期間 令和 4 年 11 月 22 日～11 月 24 日

調査面積 60 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

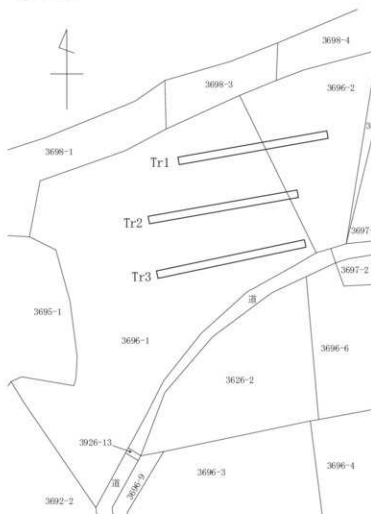
調査区は西に向かって大きく下る地形。太陽光発電施設の浸透側溝を計画している場所にトレンチを 3 本設定して重機を用いて掘り下げた。

基本層序は次のとおり。Ⅰ：褐色土 (10YR4/6) Ⅱ：暗褐色土 (10YR3/4) Ⅲ：赤褐色土 (10YR5/4) 10cm から 20cm 大、大きいもので 50cm 大の軽石含む 浅間軽石流堆積層。

Ⅲ層検出面で遺構の検出作業を行ったが、確認できなかった。遺物についても確認できなかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【東より】



Tr1【東より】

試掘調査

諸遺跡

所在地 小諸市大字諸 405-1、405-3

事業概要 宅地造成

開発者 有限会社カツミ不動産

調査期間 令和4年8月3日

調査面積 7 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

調査区は南南東に向かって緩やかに傾斜する地形で、405-1 と 405-3 は 1 m 以上の高低差がある。諸遺跡包蔵地内で、かつ、宅地造成が計画されている場所にトレンチを 1 本設定して重機を用いて掘り下げた。

トレンチ 1 で現況地表面より 20cm 下に高峰由来のローム層が検出され、本層で遺構の検出作業を行ったが、確認できなかった。

また、遺物についても確認できなかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【南西より】



Tr1【北より】

試掘調査

山神遺跡

所在地 小諸市大字森山字道木 59 番 1

事業概要 集合住宅建設

開発者 小泉ファーム株式会社

調査期間 令和 4 年 7 月 26 日

調査面積 41.2 m²

検出遺構 なし

出土遺物 土師器

調査所見

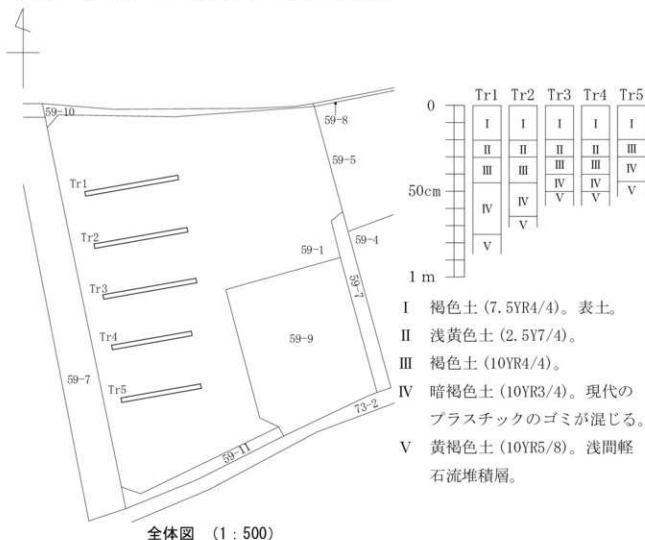
調査区は西に向かって緩やかに傾斜する地形。集合住宅の基礎及び外構工事が計画されている場所にトレンチを 5 本設定して重機を用いて掘り下げた。

調査区西側で現況地表面より 50cm～75cm 下に浅間軽石流堆積層が検出され、本層上面で遺構の検出作業を行ったが、確認できなかった。調査区東側は深く掘り込まれていたが、埋土内から現代のゴミが出てきているので、近年の土地利用に伴うものと判断した。

遺物は、土師器の破片が 9 点、トレンチ 5 西側の谷と思われる掘り込み内より出土している。5 cm 程度の小片で奈良時代の所産と思われる。



位置図 (1:10,000)



全体図 (1:500)



調査地全景【北西より】



Tr1【西より】



Tr5【西より】



出土遺物

試掘調査

和田原遺跡群①

所在地 小諸市大字御影新田字和田原 2709-1
の一部、2710-2

事業概要 集合住宅建設

開発者 大東建託株式会社

調査期間 令和4年11月16日～11月18日

調査面積 161 m²

検出遺構 竪穴建物1軒、土坑8基

出土遺物 なし

調査所見

集合住宅の基礎、合併浄化槽、浸透枳及び擁壁が計画されている場所を中心にトレンチを9本設定して重機を用いて掘り下げた。

基本層序は次のとおり。Ⅰ：黒褐色土(10YR3/2) 耕作土 Ⅱ：褐色土(10YR4/4) Ⅲ：黄褐色土(10YR5/8) 5cmから10cm大の軽石を含む 浅間軽石流堆積層。

調査区北側は現況地表面より20cm下に、南側は75cm程度下に浅間軽石流堆積層が検出され、本層上面で遺構の検出作業を行った。トレンチ1に土坑4基が、トレンチ2に竪穴建物1軒及び土坑4基が検出された。

遺物については確認できなかった。



位置図 (1:10,000)



全体図 (1:500)



調査地全景【南より】



SK1、SK2 のプラン (Tr1 で検出)【東より】



SK3、SK4 のプラン (Tr1 で検出)【北東より】



SB1 のプラン (Tr2 で検出)【北より】



SK5、SK6、SK7、SK8 のプラン (Tr2 で検出)【北より】

試掘調査

和田原遺跡群②

所在地 小諸市大字御影新田字和田原 2718 番 1、4、
2719 番 1、2722 番 2、2723 番 1、3、4、
2724 番 1、4、5

事業概要 店舗建設

開発者 株式会社コメリ

調査期間 令和 4 年 9 月 13 日～14 日

調査面積 120 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

調査区は西に向かって緩やかに傾斜する地形。店舗外売場が計画されている場所にトレンチを 4 本設定して重機を用いて掘り下げた。

調査区で現況地表面より 60cm～90cm 下に浅間軽石流堆積層が検出され、本層上面で遺構の検出作業を行った。トレンチ 1 東側に掘り込みが確認されたが、碎石混じりで、かつ、丸釘やコンクリート片が検出されたことから現代の掘り込みと判断した。また、トレンチ 1 中央から西側に細長い掘り込みが確認されたが、ビニールごみが検出されたこと、調査区内でプラスチック樹脂の水道管が検出されたことから、現代の水道管の埋設跡と判断した。また、トレンチ 4 からは建築廃材が検出されており、敷地内は全体的に攪乱されていた。そのほか、遺構は検出されなかった。

遺物についても確認できなかった。



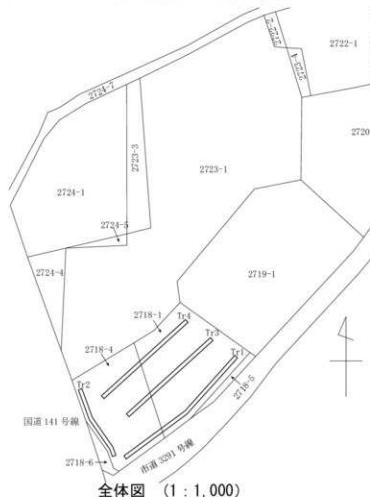
調査地全景【北東より】



Tr3【北東より】



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 1,000)

試掘調査

成立遺跡群

所在地 小諸市大字滋野甲字西ノ平 2470-3、
2470-5、2470-6、2470-7、2473、2475、
2496-2、2498、2499、2503-1、2506、
2507-1、2507-2、2509-3、2507-1 地先
(道)の一部

事業概要 工場建設に伴う造成

開発者 有限会社高橋製作所

調査期間 令和5年1月18日～1月19日、2月28日

調査面積 67 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

調査区は南に大きく傾斜する地形。また、中央の道から東西に緩やかに傾斜している。

切土が計画されている場所のうち、包蔵地内にトレンチを2本 (Tr3、4)、包蔵地に隣接し、かつ、現況地形が比較的平坦な箇所にトレンチを2本 (Tr1、2) 設定して、重機を用いて掘り下げた。なお、工事の進捗に合わせて、1月18日～1月19日に調査地東側 (Tr1、2) を、2月28日に調査地西側 (Tr3、4) を調査した。

基本層序は次のとおり。Ⅰ層：黒褐色土 (10YR2/3)、表土 Ⅱ層：明黄褐色土 (10YR6/6)、砂礫の堆積層。遺構の検出作業はⅡ層頂部で行ったが、確認できなかった。遺構確認面の深さは、調査区西側の北東では現況地表面より13cm程度、南西にいくほど深くなり54cm程度だった。調査区東側では、北側深いところでは現況地表面より1m以上でⅡ層に至る。平坦面はあるが現代の盛土であり、もともとは急傾斜地であったと考えられる。遺物についても確認できなかった。



全体図 (1 : 2,000)



位置図 (1 : 10,000)



調査地全景【東より】



Tr3【西より】

試掘調査

岩下遺跡

所在地 小諸市大字八満字岩下 1647-1、1647-2

事業概要 倉庫建設

開発者 有限会社アマリファーム

調査期間 令和4年10月31日～11月2日

調査面積 138 m²

検出遺構 なし

出土遺物 縄文土器、土師器

調査所見

調査地周辺は南傾斜の地形。調査地はすでに、南側にはほ場整備（高いところで3m近い盛土）がされていた。倉庫の基礎、井戸、受水槽及び給水場が計画されている場所を中心にトレンチを4本設定して重機を用いて掘り下げた。

基本層序は次のとおり。Ⅰ：黒褐色土（5YR3/1） 耕作土 Ⅱ：褐色土（10YR4/4） Ⅲ：黄褐色土（10YR5/8） ところどころ赤褐色土（2.5YR4/8）を含む 砂礫の堆積層。

調査区北側（Tr1、2）は現況地表面より15cm～60cm下に砂礫の堆積層が検出され、本層上面で遺構の検出作業を行ったが遺構は検出されなかった。なお、Tr1中央付近に落ち込みが確認されたが、湧水の量が著しく立ち上がりも緩やかであることから沢と判断した。調査区南側（Tr3、4）では1m～1m 70cm程度掘り下げたところではほ場整備の跡が検出された。

遺物については、Tr1湧水地点周辺で縄文土器破片20点と土師器破片1点が見つかったが、流れてきたものと判断した。



位置図 (1:10,000)



全体図 (1:1,000)



調査地及び周辺【北より】



Tr1【北西より】



出土遺物

試掘調査

坪ノ内遺跡

所在地 小諸市大字八満字坪ノ内 166-4、166-5

事業概要 集合住宅建設

開発者 大東建託株式会社

調査期間 令和4年11月24日～11月25日

調査面積 101 m²

検出遺構 堅穴建物1軒

出土遺物 土師器、須恵器

調査所見

調査地は南に向かって下る地形。集合住宅の基礎、合併浄化槽及び浸透枳が計画されている場所を中心にトレンチを4本設定して重機を用いて掘り下げた。

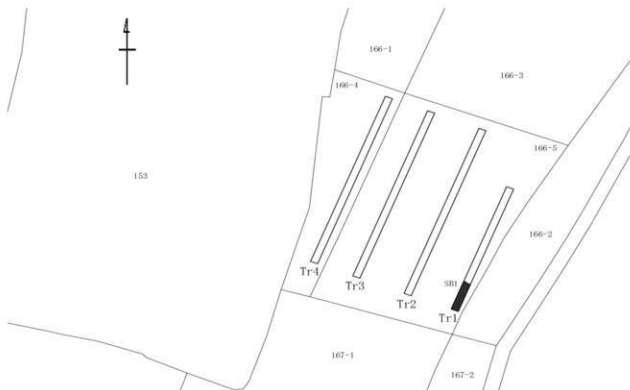
基本層序は次のとおり。Ⅰ：黒褐色土(7.5YR2/2) 耕作土 Ⅱ：褐色土(10YR4/4) Ⅲ：黄褐色土(10YR5/8) 5cmから10cm大、大きいもので20cm大の軽石を含む 浅間軽石流堆積層。

調査区北側は現況地表面より30cm～50cm下に、南側は100cm～120cm程度下に浅間軽石流堆積層が検出され、本層上面で遺構の検出作業を行った。トレンチ1に堅穴建物1軒が検出された。また、トレンチ2北側に掘り込みが確認されたが、黒いビニールテープが検出されたことから現代の掘り込みと判断した。

遺物については、堅穴建物理土上面から土師器破片6点及び須恵器破片1点が見つかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 500)



調査地全景【北より】



SB1 のプラン (Tr1 で検出)【北より】



出土遺物

試掘調査

矢留城跡

所在地 小諸市菱平 712-4

事業概要 サウナ建設

開発者 株式会社薬師館

調査期間 令和4年8月9日

調査面積 14.9 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

調査区は平坦部を取り囲むように土手状の高まりが存在する地形。サウナが計画されている場所にトレンチを2本設定して重機を用いて掘り下げた。

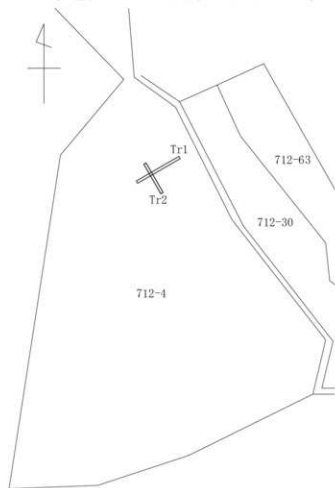
現地確認で土手状の高まりが認められたため、断ち割り調査を行ったが土塁の存在は確認できなかった。

調査区で現況地表面より 40cm～50cm 下に高峰火砕流堆積層が検出され、本層上面で遺構の検出作業を行った。トレンチ1 東側（土手頂部）から東及び西に人為的な切土が確認された。東側の切土は道を切り出した際の跡と思われる。また、西側の切土は、土地所有者が数十年前に掘削した跡と思われる。そのほか、遺構は検出されなかった。

また、遺物についても確認できなかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 1,000)



調査地全景【南より】



Tr1【西より】

試掘調査

鎌田原遺跡

所在地 小諸市大字御影新田字釜田原 213 番 2

事業概要 集合住宅建設

開発者 大東建託株式会社

調査期間 令和 4 年 11 月 10 日～11 月 11 日

調査面積 161 m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

調査所見

調査区は北に向かって緩やかに下る地形。集合住宅の基礎、合併浄化槽、浸透枳及び擁壁が計画されている場所にトレンチを 12 本設定して重機を用いて掘り下げた。

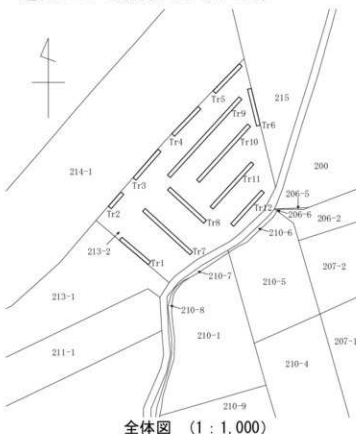
基本層序は次のとおり。Ⅰ：黒褐色土 (10YR3/2) 耕作土 Ⅱ：褐色土 (10YR4/4) Ⅲ：明黄褐色土 (10YR6/8) 5 cm から 10cm 大、大きいものは 20cm 以上の軽石を含む 浅間軽石流堆積層

調査区で現況地表面より 40cm ～ 60cm 下に浅間軽石流堆積層が検出され、本層上面で遺構の検出作業を行った。トレンチ 8 南東側に掘り込みが確認されたが、不整形であり、また、黒いビニールテープらしきゴミが検出されたことから現代の掘り込みと判断した。調査地全体は最近まで木々が生い茂っていた場所であったため、全体的に木の根により攪乱されていた。また、地権者による伐根によりところどころえぐられていた。そのほか、遺構は検出されなかった。

遺物についても確認できなかった。



位置図 (1 : 10,000)



全体図 (1 : 1,000)



調査地全景【北より】



Tr1【南東より】

報告書抄録

ふりがな	しないいせき
書 名	市内遺跡 2022
副書名	令和4年度小諸市内遺跡発掘調査報告書
シリーズ名	小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	47
編著者名	星野保彦、井出勇介
編集機関	小諸市教育委員会
所在地	小諸市相生町三丁目3番3号
発行年月日	2025年3月27日

小諸市埋蔵文化財発掘調査報告書 第47集
市内遺跡 2022 令和4年度小諸市内遺跡発掘調査報告書

発行日 2025年3月27日
編 集 〒384-8501 長野県小諸市相生町三丁目3番3号
小諸市教育委員会
発 行 小諸市教育委員会
発行所 〒384-0026 長野県小諸市本町二丁目1番4号
ヨダ印刷サービス株式会社
